

# 2016（平成28）年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 1 事業の総括

### (1) 市民活動の発展と継続に向けた各種支援策の実施

従前の各種支援事業を継続して実施していますが、2016年12月2日に「休眠預金活用法」が成立したことで、今後の事業展開が大きな変化を迎えました。これによりNPOの資金調達や寄附の流れが変わりつつあり、「NPOの評価」が今後の支援事業において重要な要素となります。

当法人では、組織診断の事業化に向けて様々な検討を行っていますが、ここに組織評価・事業評価という観点も取り入れ、事業化に向けて準備を進めました。

まず、認定NPO法人日本NPOセンターが中間支援スタッフ向けに実施した「NPO「支援力」応援プログラム」研修（第1回研修：2016年12月13～14日、②演習、③第2回研修：2017年2月16～17日）にスタッフ2名が参加し、組織診断に関する見識を高め、今後のシステム構築に向けた作業の棚卸しを行いました。また、上記の②演習において、地域で活動するNPO法人2団体に対して「組織診断」演習を実施し、実際に組織診断を行う際の課題を洗い出しました。

また、(一財)非営利組織評価センターが実施した「非営利組織の第三者書面組織評価」に組織評価の受け手としてノウハウを学ぶために申し込み、結果、高い評価を受けることができました。これらの経験を今後の支援策に活かして行きたいと考えます。(3ページ参照)

参考：(一財)非営利組織評価センター当法人評価結果

<https://jcne.or.jp/org/n2016e005/>

### (2) 社会貢献活動への市民意識の向上

昨年度に引き続き、藤沢市との協働事業（藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度）による「高校生のシチズンシップ事業」、(公財)トヨタ財団との助成事業であるイニシアティブプログラムの「インターンシップ事業」によって、地域の若者の市民意識の向上を図りました。

どちらの事業も今年度が助成最終年度となりましたが、シチズンシップ事業においては、関わった高校生が50名に上り、事業参加後はボランティアチームを結成する等、主体的に動き出すメンバーが数多く見受けられ社会貢献活動への種まきは着実に進みました。

また、インターンシップ事業については、3事業年度実施した中で、1期生、2期生のOB・OGがサポートメンバーとして参加学生とともに歩み続ける等、継続的に関わっている若者が

多く、こちらも市民活動を担う人材の育成が進んでいると見受けられます。

本事業は、当法人の独自スタイルでの事業化に向け、引き続き同財団との調整や、新たな資金調達の仕組みを検討し、自立化および他地域に広げていくための作業を行っていきます。

(14 ページ参照) なお、来年度は藤沢市青少年問題協議会に当法人から2名委員として参加することになり、上記事業で培った青少年の社会貢献活動の重要性を会議の発言のみならず、藤沢市における青少年育成計画等に活かしていきたいと思えます。

### (3) 法人名称の変更と今後の方針

当法人は、東日本大震災の復興支援事業を機に、定款や事業内容等を見直すこととなり、昨年度に定款第3条(目的)、第4条(特定非営利活動の種類)、第5条(事業)の変更等抜本的な改革を行いました。そして今年度は「名称の変更」という大きな転換の時期となりました。

旧名称：藤沢市市民活動推進連絡会

↓

新名称：藤沢市民活動推進機構(2017年3月1日登記)

かながわ・ゆめ国体夏季・秋季大会をきっかけとした団体発足時(1996年)の名称である「藤沢市市民運動推進連絡会」から「連絡会(様々な団体の集合体)」という名称は継続して使用していましたが、近年そのような組織体となっていないため整合性を図ること。また、名称にある「藤沢市」という言葉が、市の関連団体というイメージや、受益対象・活動範囲が藤沢市のみ、というイメージを払拭することが理由です。

当法人の活動目的は、市民がいきいきと過ごすことのできる街を創ることにあり、その目的を達成するため様々な事業展開しています。今後も多様化していく事業に積極的に、柔軟に対応していきます。

また、藤沢市(江の島)は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセーリング競技会場となっており、市を挙げての準備が本格化してきました。

市民が主体的に同大会を盛り上げる気運を醸成し、大会が終了した後も、積極的に市民活動・ボランティア活動にかかわりを持つための方策が必要となり、それは当法人が行うべきものです。当法人は、本大会に様々な形で関わり市民活動を推進し、まちの活性化に寄与していきたいと考えています。

本事業報告書では、各団体の法人格は、略称で表記しています。

(NPO法人) -----	特定非営利活動法人	(認定NPO法人)---	認定特定非営利活動法人
(公財) -----	公益財団法人	(一財) -----	一般財団法人
(一社) -----	一般社団法人	(株) -----	株式会社
(有) -----	有限会社		

## 2 事業の内容

### (1) 市民活動団体等の組織運営および活動支援に関する事業

#### ア 市民活動団体等への団体交流の場の提供

「NPO交流サロン」や「市民活動推進センター15周年事業」、「かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム(後述)」における寄贈式等、交流の場を計8回(サロン4回、15周年、NPO見本市2回(深沢・秋葉台)、イーパーツ)開催し、市民活動団体同士、また教育機関、企業など他セクターとのつながりを推進した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、サニープレイス座間、秋葉台公園、フジサワ名店ビル、深沢高等学校、六会公民館、藤沢市民会館
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

#### イ 市民活動団体等の活動における共通の課題についての研修会の開催

市民活動団体の活動における共通の課題について、通年実施している活動支援関連講座(NPOマネジメント講座)を15回、PC関連講座(ITサポート講座)を12回実施した。その他、出張講座「はじめの一步講座」を2施設で実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、六会公民館  
就労移行支援事業所 LITALICOワークス 横浜戸塚
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

#### ウ 地域版組織診断システムの運用

昨年度に引き続き、組織診断ツールを活用した事業化に向けて、NPO法人への組織診断の実施による事例収集や研修等へ参加をした。(1ページ目に記載の通り)

また、組織評価の手法も今後重要な事業化の要素になると考え、(一財)非営利組織評価センターが実施した「非営利組織の第三者書面組織評価」に申し込み、組織評価のノウハウを学んだ。

- ①日時 年間随時
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、組織診断演習実施NPO法人事務所
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 組織診断演習実施NPO法人、市民活動団体関係者

## エ 市民活動団体等への財政支援による組織基盤強化事業

市民活動の財政的支援を目的に、購入型クラウドファンディングサイト「FAAVO 湘南」の運営を行い、延べ5案件を公開し、3件を成立させ、約240万円の資金調達を支援した。

また、昨年度に引き続き、市民活動基金の設置に関する事業「藤沢キフサイト（仮称）」公開へ向けての準備を整えた。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者、またその支援者、関心のある市民

参考：FAAVO湘南支援プロジェクト内訳

起案者	支援金額	達成率	支援者数	開始日	期限
(N) 藤沢市市民活動推進機構	¥17,500	175%	11人	2016/4/19	2016/5/20
蔵まえギャラリー	¥102,000	102%	24人	2016/5/20	2016/6/20
DON(第一中おやじネットワーク)	¥262,000	30%	37人	2016/5/26	2016/6/28
シネコヤ	¥2,285,000	114%	210人	2016/6/1	2016/7/28
株LIBERAseds	¥161,000	16%	14人	2017/3/20	2017/4/28

## オ SAVE JAPANプロジェクト(希少生物保護活動団体支援プロジェクト)

全国の希少生物が生きやすい環境を作る活動を全国で展開している「損保ジャパン日本興亜(株)(東京都)」と「認定NPO法人日本NPOセンター(東京都)」との協働事業の神奈川県実施事業として、「NPO法人ゆい(神奈川県茅ヶ崎市)」をサポート。湘南海岸の砂草の保全活動(植栽会)を2016年10月に実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている団体と参加市民

## カ 市民活動団体等への物品等の寄贈による活動支援事業

市民活動団体への情報化支援及び市民活動団体を支援する組織の支援力向上を目的に、「認定 NPO 法人イーパーツ（東京都）」と県内 NPO 支援センター（※）が協力し、リユース PC 寄贈プログラムを実施。当法人は、神奈川プログラム運営事務局として各組織との調整等を行った。募集：年間 1 回、寄贈 PC 数 32 台、寄贈団体 49 台、説明会 3 回（小田原、大和、平塚）、寄贈式&講習会 1 回

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内会議室他
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・市民活動支援に興味のある者

参考：プログラムに参加している NPO 支援センター一覧（参加順）

藤沢市市民活動推進センター、ちがさき市民活動サポートセンター  
おだわら市民交流センター UMECO、大和市民活動センター  
座間市民活動サポートセンター、ひらつか市民活動センター  
市民活動センターあやせ、さがみはら市民活動サポートセンター  
鎌倉市市民活動センター、逗子文化プラザ市民交流センター

## キ 災害復興活動団体支援事業

募金活動や市内各種イベント内での被災地製作グッズ等の頒布を通じて支援金をお預かりし、その資金を元に 18 台（※1）の PC を整備・再生を行った。  
また、藤沢市民まつりや元気バザール等のイベントに出店し、東北物産市を開催。東北の食品や雑貨の販売（※2）を通じた被災地支援を実施。（株）有隣堂トレアージュ白旗店（2016 年 8 月末まで）とレンタルボックス「おはこ」（年間）の 2 か所での委託販売を実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 (株)有隣堂トレアージュ白旗店、レンタルボックス「おはこ」、  
ゆくり庵、藤沢市市民活動推進センター、各イベント会場
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 復興支援事業に興味があり、公益的な市民活動を行っている又は  
興味のある団体（※）と個人

※1：寄贈団体(10 団体)

- ・一般財団法人ダイバーシティ研究所
- ・Wish happiness
- ・コミュニティハウス片瀬山
- ・ふわふわの会
- ・NPO 法人コミュニティサポートあやせ
- ・NPO 法人湘南 DV サポートセンター
- ・NPO 法人市民後見さざなみネット
- ・NPO 法人湘南トレッキング
- ・NPO 法人かながわ 311 ネットワーク
- ・NPO 法人帆船やまゆり保存会

※2：取引先団体一覧

- ・NPO 法人石巻復興支援ネットワーク
- ・NPO 法人応援のしっぽ
- ・(一社)つむぎや
- ・南三陸おふくろの味研究会
- ・(一社)石巻元気復興センター
- ・たみこの海パック
- ・(一社)re:terra
- ・(株)GNS
- ・(有)コンテナおおあみ
- ・(株)ガールズライフラボ
- ・(一社)BIG UP 石巻
- ・NPO 法人ガーネットみやぎ

ク 各種市民活動助成金審査会への参加協力

市民活動団体へ財政的支援を実施している組織への協力（審査会等への参加、アドバイス等）を行った。

- ①日時 年間
- ②場所 助成組織の事務所他
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 各種助成組織（※）

※参考：参加助成プログラム等

- ・(公財) かながわ生き生き市民基金
- ・大和証券フェニックスジャパン・プログラム
- ・タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム
- ・中央ろうきん社会貢献基金
- ・公益信託ひらつか市民活動ファンド
- ・行政関連：綾瀬市、相模原市、二宮町・藤沢市

## (2) 市民活動および市民活動支援に関する調査研究・情報発信事業

### ア 関連情報の収集と発信事業

本年度は、市民活動促進に関する情報を3,194件(※1)収集し、ホームページやメールマガジン等、様々な媒体を活用し、10,745件(※2)発信を行った。

また、今年度よりレディオ湘南(藤沢エフエム放送株式会社)にて当法人紹介番組「NPO café」による情報発信(53回及び推進センター15周年事業内企画)を行った。

①日時	年間随時
②場所	情報の届く範囲
③従事者人員	10名
④受益対象者	市民活動に興味のある者

※1: 収集情報数: 3,194件(前年比94.83%)

内訳

来館: 578件、郵便: 1,815件、庁内メール: 261件、FAX: 14件 Eメール: 54件

スタッフ持込: 472件

情報形態内訳

団体PR 246件、発行物 1,147件、イベント 1,341件

ボランティア募集 23件、NPO支援情報(助成金等) 324件、その他 113件

※2: 情報提供数: 10,745件(前年比103.99%)

内訳

情報ラック 1,604件 掲示板 1,269件

ファイリング 2,656件 メールマガジン 1,409件

HP(イベント情報) 1,405件 ニュースレター244件(NPO支援情報)

情報クリップ 241件(イベント情報、募集情報等)

市民活動情報コーナー 1,632件(17団体×年間6回×16箇所(市内公民館))

タウンニュース掲載 25件(内訳: 団体紹介 24件 センターイベント紹介: 1件)

ボランティア情報 115件(ボランティアーズ 17~19号、1号平均: 38件)

ウスイホーム(株) 発行情報誌への藤沢地区イベント情報提供 145件

※3: ラジオ「NPO café」での週テーマ

1週目: センター・プラザ 2週目: ボランティアーズ 3週目: ワカモノ×NPO

4週目: 連絡会

5週目: その他(その時のHOTな話題)

## イ 市民活動・社会貢献活動に関する調査

今年度は、認定および条例指定 NPO 法人制度を活用の有無に関する意識や、実際に取得を考えている団体については、取得にあたり、どのような支援が必要か、等を調査する目的に「認定・仮認定及び条例個別指定 NPO 法人の制度の周知状況に関する調査」を行った。

認定等の取得に関しては、会計処理能力や事務能力の質の担保をするための施策が必要なが読み取れましたので、今後の支援事業に活かして行きます。

また、昨年度同様「逗子文化プラザ市民交流センター」への職員出向により、藤沢で培った市民活動支援のノウハウ移転や市民活動支援に関する研究を行った。

- ①日時 2017年2月10日(金)～2017年2月28日(火)
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 市民活動団体および市民

## ウ 市民活動関連研修会への参加・出席・協力および視察受け入れ

市民活動支援力の向上に必要と思われる研修に年間25回参加した。また、民間中間支援組織をはじめ、行政関係者など4団体の視察を受け入れた。

- ①日時 年間随時
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 スタッフ、市民、中間支援組織、大学等教育機関、行政、議会他

## (3) 市民活動を支援する施設の管理運営事業

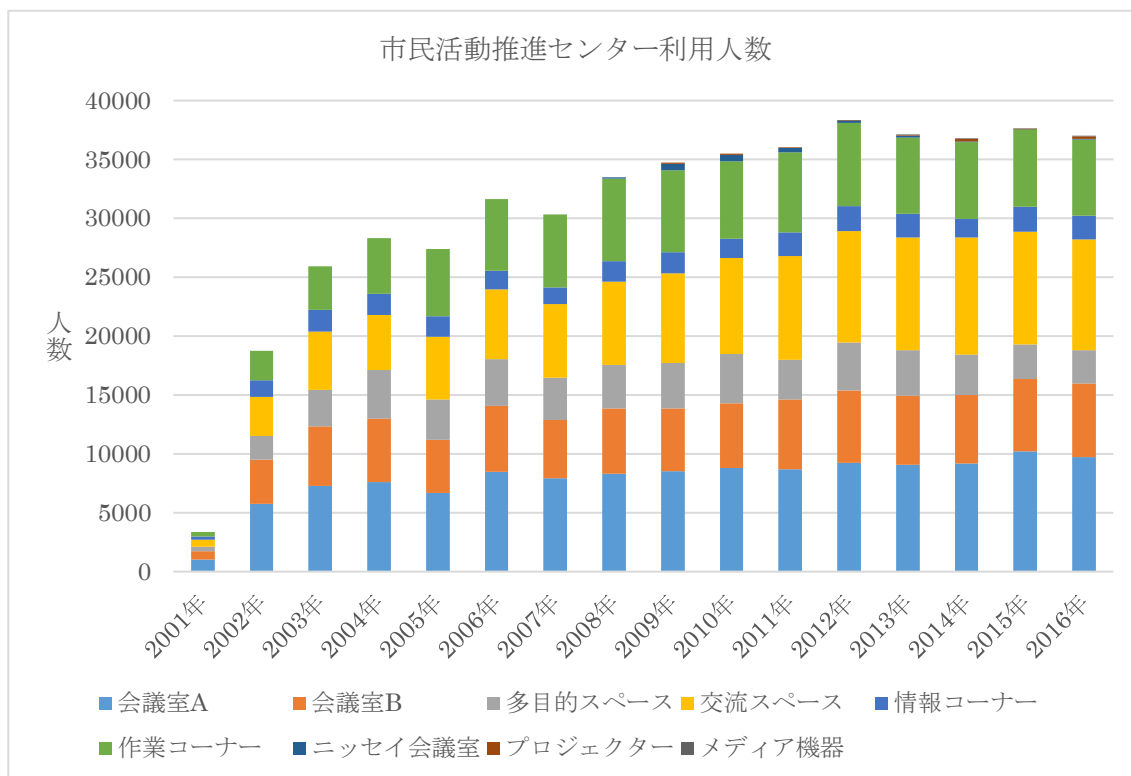
### ア 藤沢市市民活動推進センターの管理運営

藤沢市における市民活動支援施設を指定管理者として管理運営を行った。

主な業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・会議室貸出・フロア管理・作業機材管理・ロッカー貸出・レターケース管理・活動団体データベースの作成・活動相談業務・サポートクラブの管理運営・掲示版・配架ラックの整理・行政との調整及び報告

- ①日時 年間（開館308日）
- ②場所 市民活動推進センター
- ③従事者人員 25名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人





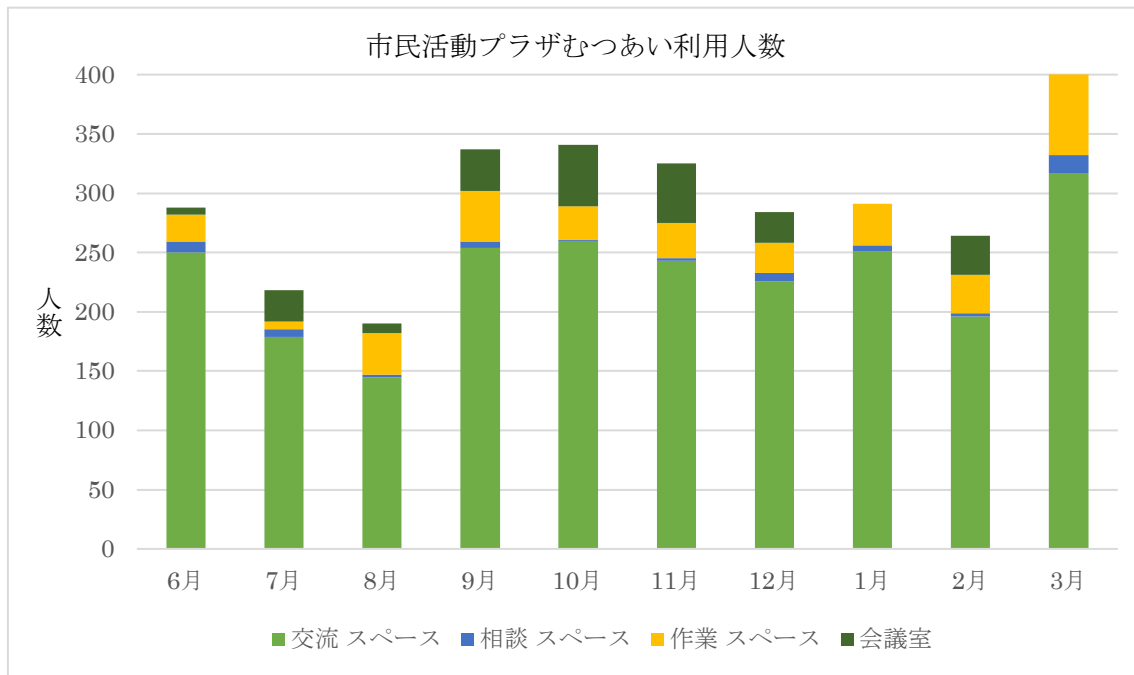
藤沢市市民活動推進センター利用者数及び件数

年間延利用者数：36,947人      1日利用平均人数：119.96人  
 年間利用件数   ：10,606件      1日利用平均件数：34.44件

イ 湘南台市民活動プラザ及び市民活動プラザむつあいの管理運営

藤沢市市民活動推進センターの分館機能を担う施設（湘南台市民活動プラザ（2016年4～5月）、移転後は市民活動プラザむつあい（2016年6月～2017年3月））の施設管理運営を行う。主な業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・フロア管理・作業機材管理

- ①日時                   2016年4月1日～2016年5月31日（湘南台：開館34日）  
                              2016年6月1日～2017年3月31日（六会：開館255日）
- ②場所                   湘南台市民活動プラザ、市民活動プラザむつあい
- ③従事者人員           7名
- ④受益対象者           公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



湘南台市民活動プラザ利用者数及び件数 (2016年4月～5月)

年間延利用者数：518人      1日利用平均人数：15.2人

年間利用件数：177件      1日利用平均件数：5.21件

市民活動プラザむつあい利用者数及び件数 (2016年6月～2017年3月)

年間延利用者数：2,994人      1日利用平均人数：11.74人

年間利用件数：1,078件      1日利用平均件数：4.22件

(4) 市民活動の普及啓発および推進事業

ア 「Let's ふじさわ(IT相談コーナー)」 運営支援事業

藤沢市民のITリテラシーの向上に長年寄与してきた事業の継続を支援するため、「IT講師懇談会」の事業展開をサポートした。本年度より高齢者層に加え、青少年層へのITリテラシー向上支援を実施した。(藤沢市総務部IT推進課業務委託事業)

- ①日時                      年間
- ②場所                      Let's ふじさわ会場 (藤沢・湘南台・辻堂ユース)
- ③従事者人員              1名
- ④受益対象者              一般市民

## イ イベント等プロデュース事業

市民参加を推進するために、藤沢市民まつりをはじめとする各種イベント等の企画へ参画した。主に学生を中心とした世代を対象に、次世代の担い手になるきっかけづくりを目的に、ボランティア等を手段とした述べ122人の地域参画の機会提供を行った。

また、NPO 法人地域魅力とさがみ地粉の会によって開発された地産地消のご当地グルメ「藤沢炒麺（チャーめん）」を同団体協力の下、5回出店する等地域イベントに積極的に参加した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 まちづくりに興味関心ある一般市民

参考：参画イベント内訳

### 【複数回開催イベント（日付順）】

イベント名	開催（開催回数）	場所	ボランティア参加人数
一龍齋春水「絵本を読む会」	毎月1回（12回）	トレアージュガーデン	13
佐々木貴之 ワークショップ	不定期（9回）	トレアージュガーデン	5
ちょい呑みフェスティバル	5/10～11、11/8～9（2回）	藤沢駅南口周辺	8
e-マルシェ	毎月1回（12回）	東奥田公園	6
阿多星花フラワーワークショップ	7/30、12/15、3/31（3回）	トレアージュガーデン	6
「おととき♪」コンサート	11/6、2/4（2回）	トレアージュガーデン	6
五行歌展示	11/11～13、12/3～11（2回）	トレアージュガーデン	7

### 【単回開催イベント（日付順）】

イベント名	開催日	場所	ボランティア参加人数
藤沢国際映画祭	6/17～6/26	藤沢駅周辺	10
第2回粉もんフェスティバル	7/9～10	湘南テラスモール	14
第43回藤沢市民まつり	9/24～25	藤沢駅前、遊行寺 秋葉台公園	20
藤沢元気バザール	10/23	サンパール広場	1
レディオ湘南 DANCEFES	10/29	辻堂海浜公園	5
NEONE ONE MAN LIVE	11/19	GIGS SHONAN FUJISAWA	2

そよかぜチームワークショップ	11/20	トレアージュガーデン	3
湘南藤沢南口サーフ&イルミ・遊～宴～市	11/27	藤沢駅南口	1
キャンドルナイト湘南台	12/24	湘南台公園	1
ふじさわ元気バザール 2017	3/5	サンパレット	3
第6回藤沢宿まつり	3/12	御殿辺公園	2

#### 【藤沢炒麺関連イベント（日付順）】

イベント名	開催日	場所	ボランティア 参加人数
ふじさわ産業フェスタ	5/28～29	市民会館	2
藤沢ファンクラブミーティング	6/4	辻堂海岸	2
第2回粉もんフェスティバル	7/9～10	湘南テラスモール	1
湘南なぎさフェスタ	10/22	辻堂海岸	3
第9回リユースフェア	2/25	リサイクルプラザ藤沢	1

#### ウ サポートクラブの運営

幅広い市民の力を結集する仕組みとしてサポーター制度を構築し、事務局運営を行った。現在、ワーク・イベント・IT・配架・プラザ・ボランティアーズ・アドバイザーの7チームがあります。（アドバイザーチーム参加は一定の基準あり）

※サポーター128名、アドバイザー30名（2017年3月31日現在）

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 市民活動を行っている、又は行おうとする市民

#### エ 関連委員会、審議会への参加

市民活動の理解を促進することを目的に、藤沢市をはじめ、各行政機関の設置する市民活動関連委員会・審議会(※)に参加協力した。

- ①日時 年間
- ②場所 会議等開催場所
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 一般市民

※参考：関連委員会・審議会等

全国

民間 NPO 支援センター・将来を展望する会

ICT 支援者ネットワークミーティング

神奈川県

神奈川県支援施設 CEO ミーティング

神奈川県内認定・指定ゆるやかなネットワーク

地域ボランティアエアポート連絡会

藤沢市

藤沢市市民活動推進委員会、藤沢市シティプロモーション委員会

藤沢市情報公開制度運営審議会、藤沢市生涯学習大学評議会

未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会

公益財団法人藤沢市まちづくり協会評議委員会

社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会、藤沢市ワークライフバランス会議

湘南東部地区福祉有償運送市町共同運営協議会

藤沢市社会教育委員会、藤沢市公民館検討委員会

北部各地区郷土づくり推進会議

他市

(仮称) 鎌倉市民活動条例検討会

横須賀市市民活動サポートセンター指定管理者選考委員会

文京区新たな公共プロジェクト成果検証会議

## (5) 市民参加によるまちづくり推進事業

### ア「藤沢市市民電子会議室(こみゅっとフジサワ)」管理運営事業

平成 26 年度にリニューアルしたサイトを今年度も運営を行った。またオンラインイベントとして「ミートアップ藤沢」を市内で 3 回実施した。

藤沢市との協働運営事業として実施していた本事業は 2017 年 9 月 30 日に終了することが決定した。来年度は日本のネットワーク・コミュニティ形成に大きく貢献した電子会議室を終了へ導くため、半年間事業を延長して取り組んでいくとともに、もう一つの役割であった、市民提案システムをどのように進めて行くかを検討していく。

- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| ①日時    | 年間                      |
| ②場所    | 藤沢市内事務所                 |
| ③従事者人員 | 4名                      |
| ④受益対象者 | 一般市民（参考：昨年度登録者数 1,841人） |

## イ 藤沢市内イベント参加支援事業

他セクターとの協働を促進し、市民活動の普及を図ることを目的に、藤沢市民まつりを中心とした市内でのイベント等への参加支援を行った。機会提供などを含め、市民活動団体延べ33団体の参加を支援した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体およびその関係者

## ウ ボランティアやインターンの積極的な受入および受入協力団体の育成事業

市民の市民活動参加意識の促進を目的として、①（公財）トヨタ財団「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム」、②藤沢市市民活動推進センターでのインターン受入事業を実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内会議室、各市民活動団体の活動場所等
- ③従事者人員 9名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

①（公財）トヨタ財団助成プログラム（2016年度イニシアティブプログラム）にて「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム」の事務局運営を行った。（受入団体：13 団体 参加ワカモノ：16 名）

高校生・大学生・専門学生・大学院生からインターン（※）を募集し、約7か月間継続的に責任を持ってNPOの活動に参加するインターンに対し、活動奨励金を助成する。また、受入NPOに対してインターンと同額の受入奨励金を助成。

この経験を通じて、将来地域で行う公益的市民活動を担う人材が育成されること、そして地域のNPOにおける組織基盤の強化が進むことを期待して実施した。

※高校生コース：80時間以上（上限100時間）

ワカモノコース：120時間以上（上限200時間）

## ②藤沢市市民活動推進センターでのインターン受入事業

受入人数 13名

内 訳 就労以降支援事業所 LITALICO ワークス 横浜戸塚（運営：（株）LITALICO）7名  
多摩大学 1名、文教大学 3名、昭和音楽大学 1名、芝浦工業大学 1名

## エ 社会貢献活動の推進および支援事業

社会の利益に資する活動をするものに対して研修事業等の支援を目的に、①藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度「高校生のシチズンシップ教育の普及事業」、②藤沢市生涯学習大学「地域デビューコース・ゼミナールコース」、③「湘南台地区地域サポーター養成講座『ゆめまる地域塾』」を実施した。

- |        |                        |
|--------|------------------------|
| ①日時    | 年間                     |
| ②場所    | 藤沢市内および近隣、宮城県南三陸町と石巻市等 |
| ③従事者人員 | 5名                     |
| ④受益対象者 | 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの |

### ①藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度

「高校生のシチズンシップ教育の普及事業」（藤沢市子ども青少年部青少年課との協働事業）

2年目を迎えた本事業、今年度は藤沢の高校生17名が、東日本大震災の被災地である宮城県南三陸町と石巻市を訪問。被災地の見学やボランティア活動、同世代の高校生との交流を通し、「高校生だからできること」を考えた。その後も、ボランティア活動や行政への提言等、参加高校生から生まれた主体的な活動をサポートしている。

### ②生涯学習大学「地域デビューコース ～チョット知りたい地域活動のコト～」及び

「ゼミナールコース ～つくる！極める！ふじさわゼミ～」企画運営業務  
(藤沢市生涯学習部生涯学習総務課との連携事業)

#### ・地域デビューコース

人生経験豊富なシニア・団塊世代や主婦層など、今まで地域で活動する機会の無かった人が、趣味や技術、興味などを活かし、ボランティアの知識を学ぶことで、地域活動を新たに始める動機付けを行う。

#### ・ゼミナールコース

興味・関心に応じたグループづくりを支援し、地域コミュニティのコーディネーターや生涯学習大学の企画・運営等を担う力量を講義・発表・グループワーク等を通して形成する。

### ③「湘南台地区地域サポーター養成講座ゆめまる地域塾」

(湘南台市民センター業務委託事業)

4回講座として実施、ボランティア体験として講座参加者が2つの事業に3名参加した。

## オ 多様なセクターの協働によるまちづくり推進事業

個人・非営利組織・営利組織問わず、社会の利益に資する活動をするものの仲介を実施することで協働を推進し、まちづくりの推進に寄与した。

仲介者として「協働コーディネーター」を設置し、NPO 活動相談及び多様な主体との協働を推進するための相談対応（68 件）及び「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度」に関連したアドバイスやオブザーバー参加に参加した。

企業（※）との相談・アドバイスをを行った他、(株)伊藤園とのチャリティベンダー(社会貢献型自動販売機)設置サポートは継続して行っている。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 1名
- ④受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

### ※企業相談実績

- ・(株)有隣堂トレアージュ白旗店
- ・メルシャン(株)
- ・(株)学研ココファン (キリンググループ労働組合協議会)
- ・オイレス工業(株)
- ・(株)小田急百貨店

## カ 地域グループ支援事業

みんなのたまり場“さんぼ庵(※1)”および“ゆくり庵(※2)”を運営し、地域の活性化といきいき暮らす街づくりに貢献する。

藤沢市「高齢者生きがい対応型デイサービス事業(4月1日～9月30日)」として実施していた本事業は、同市「高齢者の通いの場事業(10月1日～3月31日)」に変更された。

事業形態の変更に伴い、さんぼ庵は長後商店会の自立運営に移行したため、9月30日で当法人の支援は終了した。

- ①日時 年間(さんぼ庵のみ2016年4月1日～2016年9月30日まで)
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 12名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

### ※1:さんぼ庵(藤沢市高倉870番地)

長後商店会と協力し、地域の高齢者の憩いの場として様々な過ごし方を楽しめるような多くのプログラム・講座を企画。また、どなたでも自由に使えるフリースペースも用意している。前述の通り、さんぼ庵の運営は平成28年9月30日までとなり、以降は長後商店会の自主運営に移行した。 登録者数:579人 利用者数:1,560人 営業日:114日



※2：ゆくり庵（藤沢市藤沢 577 番地 寿ビル 201 号室）

高齢者の引きこもり防止目的を第一に考え開催している。文化的創造プログラム（習字や水墨画・編み物、吊るし雛等）、声を出すプログラム（みんなで歌おう・昭和のメロディー）、体を動かすプログラム（ヨガや太極拳、認知症予防の体操等）や、健康マージャンなどで仲間づくりをしている。

「通いの場」になり料金も変更になったため利用者の減少を予期していたが、新規登録者も増えている状況。プログラムに、より多くのジャンルを入れられるように工夫して、より楽しい場所にしていきたいと考えている。なお、2017 年 4 月より場所を移して実施するため、新しい場所からの新規登録者の確保に努めていきたい。

4 月～9 月登録者数：256 人 利用者人数：2,334 人 営業日：181 日

10 月～3 月登録者数：153 人 利用者人数：2,001 人 営業日：102 日

### キ 浪江町復興支援員拠点運営事業

福島県浪江町から派遣された 4 名の復興支援員の活動支援として、活動拠点の提供、戸別訪問の支援、広報誌の発行支援、交流会の開催支援等、活動サポートおよびマネジメントを行った。長期的な避難生活の中で移り変わる避難者ニーズとその対応策を把握し、藤沢・湘南が被災等により長期避難する場合の対応とその事前準備について、知見が得られた。

なお、神奈川拠点での活動は本年度で終了した。

- |        |                |
|--------|----------------|
| ①日時    | 年間             |
| ②場所    | 団体事務所他         |
| ③従事者人員 | 3名             |
| ④受益対象者 | 広域避難者および興味ある市民 |

支援員戸別訪問件数：267 世帯

当法人スタッフの研修会等参加回数 10 回

交流会の参加（他団体が主催）15 件

交流会の開催（支援員が主催）5 件

## 3 その他

### ア 会議の開催（総会・理事会等）

理 事 会：2016 年 5 月 29 日（日）、2016 年 6 月 18 日（土）、2016 年 7 月 1 日（金）

通常総会：2016 年 6 月 18 日（土）